



「あだち放課後子ども教室」は区内の小学校内で、地域の方（スタッフ）の見守りのもと子どもたちが遊びや読書など自主的に活動する場です。

今月のテーマ

スタッフリーダーの  
思いや工夫



子どもたちの安全と安心な活動に欠かせないのが、スタッフの存在です。今回は3校の「あだち放課後子ども教室」のスタッフリーダーに、活動を始めたきっかけやエピソードをお聞きしました。

### ● 足立小学校「あだちーず！」スタッフリーダー近藤さん

近藤さんは平成21年からスタッフの活動に加わり、足立小学校が開校し「あだちーず！」がスタートしたときから関わっています。

「子どもたちの話を聞くときにはいつも笑顔を大切に、子どもの目線に合わせて姿勢を低くしています。子どもたちの安全面を考慮し、できるだけ多くの経験をさせてあげたいと思っています」と優しく語る、近藤さん。



近藤さん



スタッフを募集している  
「あだち放課後子ども教室」があります。  
詳しくはお問い合わせください。

放課後子ども教室担当 ☎5813-3732 平日 午前9時～午後5時

“アフタースクールイン弥生”

### ● 弥生小学校「ASY」スタッフリーダー小泉さん



小泉さん

小泉さんは平成20年のASY開始時からのベテランスタッフで、子どもと触れ合うことを大切にしています。「以前、逆立ちを3秒間できた子どもがいて、みんながすごいと思いました。その気持ちを形にしたのが認定書です。それからASYでは、子どもが何かできるようになったときに認定書を渡しています」

今日も子どもの「できた」を応援しています。

### ● 弘道小学校「こうどう梅☆ぱれっと」スタッフリーダー関さん

こうどう梅☆ぱれっとの部屋にはメッセージ入りの千羽鶴やパネルがあります。「これは昨年度の卒業生のサプライズプレゼントなんです」と満面の笑みで語る、関さん。

ご自身のお子さんも弘道小学校を卒業していることから愛着もあり、こうどう梅☆ぱれっとの子どもたちと過ごす時間を大切にしています。これからもずっとスタッフを続けたいという気持ちで、優しく子どもたちを見守っています。



関さん



スタッフのみなさんの心のこもった活動が、地域で育てられているという、子どもの安心感につながっています。

子どもたちは学校や家庭とは違った自由さと居心地の良さから「あだち放課後子ども教室」の活動を楽しんでいます。

